

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 2 月 12 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3871000174		
法人名	医療法人財団尚温会		
事業所名	グループホーム 伊予の郷		
所在地	伊予市八倉919番地5 (電話) 089-983-2252		
管理者	野田 いその		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 12 月 19 日	評価確定日	平成 21 年 2 月 13 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 11 月 27 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 14 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 7.2 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,800 円	その他の経費(月額)	13,200 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 11 月 27 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護 1	8 名	要介護 2	1 名
要介護 3	5 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 87 歳	最低 76 歳	最高 96 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

道後平野を一望できる高台にある。医療法人を運営主体としており、その敷地内に隣接しているため、医療機関との連携が密であるため、健康管理の面で安心感がある。ホーム内はゆったりと広いため、職員は全体を見渡すことができ、見守りがしやすい。認知症介護に関しての力量豊かな職員が揃っており、グループホームの特性を活かして、利用者と一緒に生活した生活を笑顔で支えている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

日常生活、運営推進会議、避難訓練などにおける地域との関わりをいかに増やしていくかという課題があったが、全職員で「地域とは何か、利用者の生活の中での地域とは何だろう、どのように活かしていけるのか」など話し合いを重ねている。ホームとしてできることを継続して模索している。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全員が個別に自己評価に取り組み、ホームを客観的に見つめることで、日々のケアの見直しや振り返りを行い、その気づきをサービスの向上に役立てている。また、職員それぞれの思いを知ることで具体的改善につなげている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

定例会に加え、家族会や避難訓練などの行事を組み込むなどの工夫をしながら、運営推進会議をより意義あるものにしようと努めている。運営法人が地域を巻き込んだ会議の開催等に取り組んでいるため、法人内のホームとして独自に地域からの参加を得ることは難しいが、地域包括支援センター、自治会、消防団などの参加を得て意見・情報交換を行うことを検討している。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の来訪時には積極的に声をかけて報告するとともに、毎月1回、担当職員が個別に評価した介護計画と新たな計画に手紙を添えて、具体的に様子を知らせている。金銭管理の報告も定期的に行っている。出された意見や要望は、検討や話し合いを重ねて改善につなげている。ホームを実家のように帰省して来る家族があり、希望に応じて宿泊できるようにしている。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営主体である病院の敷地内にあり、周辺に一般住宅が少ないため日常的な交流は少ないが、地方祭では神輿や獅子舞をホームに迎え入れて身近なふれあいができるように配慮している。ホームの周辺を地域と考え、病院の職員、託児所の子どもたち、デイサービスの参加者等とも積極的に交流を図っていくことを検討する予定である。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム伊予の郷

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)  
氏名 野田 いその

評価完了日 平成 20 年 11 月 27 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着型には欠けている  (外部評価) その人らしく暮らし続けることを支える理念となっている。地域密着型という点においては、場所的な立地条件が複雑であるため具体化が難しいが、今後は地域という視点を柔軟にし、ホーム外の人との関わりを増やしていくことを検討している。		近隣とのコミュニケーションとしてのイベント
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 勉強会等で再確認し、目でみては意識を高めている。  (外部評価) 理念について勉強会などでアンケートを取るなどして話し合いを行い、生活の質の向上に役立てている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族との取り組みはあるが地域との浸透がうすい。		近隣とのコミュニケーションを持つイベント

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 立地場所が悪く難しい。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 納涼会や地方祭・小学生との交流・ボランティア活動等  (外部評価) 運営主体である大きな病院の敷地内にあり、一般住宅が少ないため日常的な交流は少ないが、地方祭などでは子どもたちと交流している。神輿や獅子舞をホームに招き、身近なふれあいができるよう配慮している。ホーム周辺をすべて地域と捉え、病院職員、託児所の子どもたち、デイサービスの参加者等とも積極的に交流を図っていくことを検討している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 少しでも出来ることがあれば取り組みたい。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義を理解し、出来ることは改善している。  (外部評価) 自己評価を全員が個々に取り組むことで、日々のケアの見直しや振り返りができており、サービスの質の向上に役立っている。また、職員それぞれの思いを知ること、具体的な改善につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 参加する家族に限られ、意見ができればそれを参考に検討している。  (外部評価) 定例会に加え、家族会や避難訓練などの行事を組み込むなどの工夫をしながら、運営推進会議をより意義あるものにしようと取り組んでいる。運営法人として地域を巻き込んだ会議等を実施しているため、ホーム独自に地域からの参加を得ることが難しい。	※	グループホームの独自性を活かし、地域包括支援センター、地域の自治会、消防団等、地域の方の参加を得ながら意見・情報交換を行うことで、サービスの質の向上につなげていくことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 連絡会等、参加して情報交換している。  (外部評価) 市担当者と気軽に話し合いや相談ができる関係をつくっている。市が認知症の啓発に力を入れており、充実した研修会などを実施しているため、積極的に参加している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 必要に応じて支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会等で学ぶ。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけ十分な説明をしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) こういったケースはみられない。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月ケアプラン近況報告・半年に1回の領収書送付  (外部評価) 家族の来訪時には積極的に声をかけて報告するとともに、月1回は担当職員が個別に評価した介護計画と新たな計画に手紙を添えて、具体的に様子を知らせている。金銭管理の報告も定期的に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会、面会時又推進会議等で聞いている。  (外部評価) 年2回の家族会や運営推進会議において意見等を聞き、出された意見や要望は話し合っ改善につなげている。ホームを実家のように帰省してくる家族もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の勉強会の後、職員の意見や提案を聞き反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 事前に連絡をとり調整している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 多方面より配慮し利用者本意に努めている。  (外部評価) 近年は職員の異動は少ないが、職員と利用者は顔馴染みの関係が大切であることをよく理解しており、やむをえない場合には十分な引き継ぎを行っている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の機会を与え、向上に努めている。  (外部評価) ほとんどの職員が研修を計画的に受講しており、資格取得にも熱心に取り組んでいる。受講した研修については内容を報告して共有しており、またテーマを決めての勉強会も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 定期的に市の連絡会等に参加している。  (外部評価) 市内8か所のグループホームで連絡協議会を立ち上げている。勉強会や情報交換を行い、相互のサービスの質の向上に役立てている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 出来ていないため、今後必要と思われる。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年2回自己評価がある。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 自分の意思が主張できる方には聴く機会を持つ。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面会時や家族会時など		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況に応じた対応		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前の見学や、後もリラックスできる雰囲気作りに努めている。  (外部評価) ホームの雰囲気に馴染んでもらえるように、入居前に見学や体験をしてもらっている。また、生活歴や生活環境を把握することを大切にしており、自宅等を訪問し、本人、家族や関係者等に話を聞き、丁寧なアセスメントシートを作成している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活していく中で、利用者から会話等で教わることも多い。 個人の作品の完成時、達成感を共に喜ぶ。  (外部評価) 利用者も職員と一緒に献立を考え、買い物も担当している。職員と利用者はお互いに「ありがとう」「大丈夫？」の声をかけあいながら、学び合い、支え合って生活している。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族さんの要望を聞き、利用者の選択で過ごす事ができている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 各家族間の距離感をみながら対応している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人・家族に聞き支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 関係を見極め努力している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他施設・病院にも面会に行ったり同法人内でのフォローをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人より家族の意向が多い。  (外部評価) 入居時のアセスメントシートに、日常生活の中で把握したことや職員の気づきなどを記録し、個々の希望や意向を情報として蓄積して活用するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族・本人からの情報を得て把握している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 個々の状態等を把握し過ごし方を考える。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 生活歴や家族さんの情報をもとにスタッフ・関係者と相談しながら計画している。  (外部評価) 全職員が介護計画の評価ができるよう意識して、日々の介護記録を記載している。担当職員が記録を見ながら評価をまとめ、新たな計画の原案を作成している。カンファレンスで全職員の気づきを出し合っって介護計画をまとめ、ケアマネジャーが家族の意見等を加えて仕上げていく。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 見直しは月1回行い状況が変化した場合はその都度立て直しをする。  (外部評価) 基本的な見直し期間は6か月ごととしているが、毎月評価表を作成しており、細かい変化を見逃さず変化に応じて毎月新たに作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に変化や気づきを記録している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 状況に応じて対応している。  (外部評価) 運営法人の医療機関、訪問介護ステーションなどの支援を得ながら、利用者の個々の要望に柔軟に応じられるよう支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要性があれば対応する。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要性があれば対応する。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要性があれば対応する。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医があり、定期的に往診もある。  (外部評価) 運営主体の病院から医師の往診があり、日常の健康管理に配慮している。個別の疾病については原則として家族の支援によりそれぞれのかかりつけ医を受診しているが、受診時には薬や日頃の健康状態を記録したものを持参してもらっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体の病院で対応してくれ、心療内科の受診も可能。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護との連携で支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 母体の病院との連携で支援している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 状況に応じ話し合いを行なっている。  (外部評価) 重度化及び終末期についての指針を作成しており、入居時はもちろん必要に応じて医師より説明をしてもらい、確認し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医・訪問看護師と共に検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他施設・病院等情報交換している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 勉強会で意識向上を図っている。  (外部評価) 衝立やのれんでトイレに目隠しをしたり、ポータブルトイレを目立たないようにするなど、利用者のプライバシーを尊重し、誇りを傷つけないよう配慮している。声かけにも細心の注意を払うよう、職員間で話し合いを重ねている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意思で選択できるような言葉のかけかたに注意している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしい生活ができるように支援している。  (外部評価) 利用者一人ひとりに寄り添いながら、今日は何がしたいのか、今はどうしたいのかなどを考えながら支援することを心がけている。具体的には、居室で過ごしたいのか、テレビを見たいのか、外出したいのか、カラオケをしたいのかなどの要望を感じ取るようにしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人に合わせ訪問の理容・美容を利用している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その人の能力に合わせた役割分担をし、買い物・調理・盛り付け・選択干し・たたみ等をしている。  (外部評価) 食事の準備や片付けについて、それぞれの利用者ができることを誇りにしながら行えるよう配慮している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々に合わせた好みのものを出来るだけ提供している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の能力に応じ、プライドを傷つけないよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望に応じて対応している。  (外部評価) 希望の時間に入ることができるよう支援している。清潔を保持するために、基本的には一日おきに入ることができるよう声かけ等を工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 身体状態に応じて対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 生活歴をもとに状態・能力等で支援している。  (外部評価) ベランダでお茶を楽しんだり、唄を歌ったり、刺し子の布巾を作ってもらったり、裁縫の得意な方に繕い物をしてもらうなど、それぞれの利用者が希望することができるよう支援している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族との相談で、又出来る人、出来ない人で支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) できるだけ希望にそえるよう努力している。  (外部評価) 買い物にはできるだけ順番に皆が出かけられるように配慮している。デイサービスの車を利用してドライブに出かけることもある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 日帰りの遠足で外食を楽しんだり他計画を立て実行している。		家族も同行もしくは、家族で出かけてもらえる機会があれば良いと思う。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望通り行なっている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問できるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会により意識向上を図っている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。  (外部評価) 運営者及びすべての職員は鍵をかけないケアの意義を十分理解しており、玄関は安全のため夜間のみ施錠し、見守りで利用者の安全を確保するよう努めている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 把握しやすい環境になっている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 状況に応じ対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会にて事故防止に取り組んでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作り壁に貼ったり、又勉強会講習に参加している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の方には働きかけていない。  (外部評価) 消防署の指導のもと、職員と同法人の施設管理職員等で消火・避難訓練を実施している。また、同法人医療機関の協力を得ながら、夜間を想定した訓練も実施している。	※	非常災害時に利用者の状態を理解した上で支援してもらうために、運営推進会議等を通じて地域の協力が得られるよう、連携体制を整えていくことが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 状況に応じ対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員間で情報交換し訪問看護・主治医との連携をしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員全体で把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食べ物(さつまいも・乳製品等)を取り入れ工夫している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 能力に合った支援をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分が十分に摂れない方には好みので摂取できるよう工夫している  (外部評価) 以前の献立表等を活用しながら、季節感のある食事を提供している。法人の栄養士にチェックしてもらい、適切なカロリーや栄養バランスを確保している。摂取量に関しては、水分も含めて個別に記録をとって管理している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作り実行しており、予防注射等に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 衛生管理は徹底しており、毎日の買い物で新鮮なものを使用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関前に椅子とテーブルを設置し気軽に座れるよう配慮し季節の花も置き自然な感じにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 生活感や季節感をを取り入れ、花や手作品等で工夫している。  (外部評価) 居間の窓辺に飾られた観葉植物や季節の花が、外からの光を浴びて生き生きとしており、自然を感じられて心地よい。十分な広さがあり、テーブルやいす、ゆったりとしたソファの配されたテレビのコーナーなど、それぞれの利用者がお気に入りの居場所を確保している。浴室、オープンキッチン、トイレも清潔感がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファやテレビ、テラスにテーブル・椅子を置き自由に行き来できる。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には本人の馴染みの道具やみなれた置物等を配している。  (外部評価) 家族の写真、思い出の品、仏壇、小箆箆、ソファ、ベット、テーブル、カレンダー、時計など、利用者それぞれが好みのものを持ち込んだ、個性的で居心地の良い居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 室温計や利用者の声など大切に配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手仕事が出来やすいよう台を置いたり、トイレ・浴室・廊下等に手すりを配置している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 個人の能力に合わせ、失敗してもさりげなく対応し安心できる対応をしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダや玄関先でランチを楽しんだりしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活の中で思いをあまり語らない利用者の意向が掴めない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒に食事やお茶をしながら昔の話をしたり、カラオケを一緒に歌ったり、日光浴等。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の趣味や性格・能力に合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々により趣味や性格が違うため 作品を完成させた達成感や役割が果たせた時の言葉かけの時
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望を視野に入れているが外出等が難しい人もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訪問看護と主治医との連携。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々に合った又状況に合わせた支援をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族との距離感から難しいところもある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 3 たまに ④ ほとんどない	交流はない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	地域住民とのつながりはあまりない。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	相手の気持ちを思いやったり、助け合いの精神で働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	会話・表情から感じられる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	医療面の充実・利用料、ケア等家族さんとの話し合いで感じられる。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員と対話しながら笑顔を見せられ、又行事には利用者・職員と交じりながら笑い合うホームとなっている。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム伊予の郷
(ユニット名)	2F
記入者(管理者)	
氏名	野田 いその
評価完了日	平成 20 年 11 月 27 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 独自の理念はあるが、地域密着型としての理念にはなっていない。  (外部評価) その人らしく暮らし続けることを支える理念となっている。地域密着型という点においては、場所的な立地条件が複雑であるため具体化が難しいが、今後は地域という視点を柔軟にし、ホーム外の人との関わりを増やしていくことを検討している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ミーティング、勉強会等で説明し、日々取り組んでいる。  (外部評価) 理念について勉強会などでアンケートを取るなどして話し合いを行い、生活の質の向上に役立てている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 家族には理解してもらっていると思うが、地域への取り組みはできていない。		家族を通して地域とのつながりを密にしてゆきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 立地場所の問題がある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭、母体病院主催の納涼会で地元の人々と交流がある。小学生の訪問など地域との関係を図っている。  (外部評価) 運営主体である大きな病院の敷地内にあり、一般住宅が少ないため日常的な交流は少ないが、地方祭などでは子どもたちと交流している。神輿や獅子舞をホームに招き、身近なふれあいができるよう配慮している。ホーム周辺をすべて地域と捉え、病院職員、託児所の子どもたち、デイサービスの参加者等とも積極的に交流を図っていくことを検討している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 取り組みをしていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 理解し取り組んでいる。  (外部評価) 自己評価を全員が個々に取り組むことで、日々のケアの見直しや振り返りができており、サービスの質の向上に役立っている。また、職員それぞれの思いを知ること、具体的な改善につなげている。		自己評価で、日々の支援の振り返り、外部評価を通じて質の向上、確保に生かしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 報告・話し合いはしているが、会議での意見が少なくサービス向上に生かすまでには至っていない。サブテーマを決め話題を提供するように努力している。  (外部評価) 定例会に加え、家族会や避難訓練などの行事を組み込むなどの工夫をしながら、運営推進会議をより意義あるものにしようと取り組んでいる。運営法人として地域を巻き込んだ会議等を実施しているため、ホーム独自に地域からの参加を得ることが難しい。	※	グループホームの独自性を活かし、地域包括支援センター、地域の自治会、消防団等、地域の方の参加を得ながら意見・情報交換を行うことで、サービスの質の向上につなげていくことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 連絡会等、参加して情報交換している。  (外部評価) 市担当者と気軽に話し合いや相談ができる関係をつくっている。市が認知症の啓発に力を入れており、充実した研修会などを実施しているため、積極的に参加している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会等で話し合い必要に応じて支援できる体制はとっている（今は該当なし）。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を通して学び、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 窓口を設置している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・月1回ケアプラン送付と近況報告等のお知らせ ・半年毎の金銭の流れの報告と領収書の送付 ・面会時、個々の報告  (外部評価) 家族の来訪時には積極的に声をかけて報告するとともに、月1回は担当職員が個別に評価した介護計画と新たな計画に手紙を添えて、具体的に様子を知らせている。金銭管理の報告も定期的に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 窓口を設置し、ホーム内では普段より連絡を密にし、不満・苦情等の確認がスムーズにでき、すみやかに反映していくようにしている。  (外部評価) 年2回の家族会や運営推進会議において意見等を聞き、出された意見や要望は話し合って改善につなげている。ホームを実家のように帰省してくる家族もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃よりコミュニケーションをしっかりととり、意見・提案を反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その都度柔軟に対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努めている。  (外部評価) 近年は職員の異動は少ないが、職員と利用者は顔馴染みの関係が大切であることをよく理解しており、やむをえない場合には十分な引き継ぎを行っている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ホーム内の勉強会・法人内の研修・外部研修への参加など行なっている。  (外部評価) ほとんどの職員が研修を計画的に受講しており、資格取得にも熱心に取り組んでいる。受講した研修については内容を報告して共有しており、またテーマを決めての勉強会も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 努めている。 (地域の連絡会・勉強会への参加)  (外部評価) 市内8か所のグループホームで連絡協議会を立ち上げている。勉強会や情報交換を行い、相互のサービスの質の向上に役立てている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) コミュニケーションを図り、ストレス等軽減できている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 半年毎に人事考課表を作成し、意識の向上に努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から、時間をかけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学等を通して安心して利用して頂けるよう工夫している。  (外部評価) ホームの雰囲気に馴染んでもらえるように、入居前に見学や体験をしてもらっている。また、生活歴や生活環境を把握することを大切にしており、自宅等を訪問し、本人、家族や関係者等に話を聞き、丁寧なアセスメントシートを作成している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 家事を一緒に行なうなど、共に生活するなかで支えあう関係を築いている。  (外部評価) 利用者も職員と一緒に献立を考え、買い物も担当している。職員と利用者はお互いに「ありがとう」「大丈夫？」の声をかけあいながら、学び合い、支え合って生活している。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 担当を決め、窓口となっている職員を中心にお便りや電話連絡にて日々の様子を伝え、共に支えあう関係作りに努めている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入居時に、本人又は家族より生活歴聞くようにしており、それを生かした支援が出来るよう計画を立てている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族等と相談しながら努めている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者間の関係をしっかり把握し孤立しないよう支援している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他施設・病院等に面会に行ったりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限りそえるよう努力している。 困難な場合は、本人とよく話し合う・ケアカンファで検討するなど工夫している。  (外部評価) 入居時のアセスメントシートに、日常生活の中で把握したことや職員の気づきなどを記録し、個々の希望や意向を情報として蓄積して活用するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時等に、家族に話を聞いたりアンケート（バックグラウンドなど）を提出してもらい活用している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の関わりや申し送り（個人記録・日誌を活用）等で努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族の意向をふまえて担当者を中心にカンファレンスを行い意見交換し、介護計画を作成している。  (外部評価) 全職員が介護計画の評価ができるよう意識して、日々の介護記録を記載している。担当職員が記録を見ながら評価をまとめ、新たな計画の原案を作成している。カンファレンスで全職員の気づきを出し合って介護計画をまとめ、ケアマネジャーが家族の意見等を加えて仕上げていく。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 月1回ケアプランを見直しをしているが、状況変化があった場合はその都度見直しをしている。  (外部評価) 基本的な見直し期間は6か月ごととしているが、毎月評価表を作成しており、細かい変化を見逃さず変化に応じて毎月新たに作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人記録に日々の様子を記録し、情報を共有し、介護計画の見直しに生かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 利用者・家族の状況・要望に応じて急な受診対応や、居室での宿泊など、多機能性を生かした柔軟な支援をしている。  (外部評価) 運営法人の医療機関、訪問介護ステーションなどの支援を得ながら、利用者の個々の要望に柔軟に応じられるよう支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員さんとの意見交換やボランティアの受け入れ・図書館利用など支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望や体調に応じて訪問の理容・美容サービスを利用している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要なときに活用を考えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体病院との連携により、月1回の往診・年2回の健康診断を実施している他、希望のかかりつけ医の受診では家族が付き添うことが原則ではあるが、職員が同行することもある。  (外部評価) 運営主体の病院から医師の往診があり、日常の健康管理に配慮している。個別の疾病については原則として家族の支援によりそれぞれのかかりつけ医を受診しているが、受診時には薬や日頃の健康状態を記録したものを持参してもらっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体病院と支援しており、心療内科の受診も可能である。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護との連携により、日常の健康管理や相談・助言など対応してもらっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) その時々にあわせ情報交換や相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 必要な時、個々に合わせて対応している。看取りのマニュアルも作成し母体病院・訪問看護ステーションとの支援体制も整っている。  (外部評価) 重度化及び終末期についての指針を作成しており、入居時はもちろん必要に応じて医師より説明をしてもらい、確認し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人・家族の意向をふまえ、主治医・訪問看護師・職員が連携をとり、チームとして支援に取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 必要な情報は共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 勉強会で学ぶ機会を持ち、意識向上を図っている。  (外部評価) 衝立やのれんでトイレに目隠しをしたり、ポータブルトイレを目立たないようにするなど、利用者のプライバシーを尊重し、誇りを傷つけないよう配慮している。声かけにも細心の注意を払うよう、職員間で話し合いを重ねている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 尋ねる言い方を心がけ、些細なことでも本人が決める場面を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 状況を把握しながら、思いに配慮した個別支援を心がけているが、十分ではないところもある。  (外部評価) 利用者一人ひとりに寄り添いながら、今日は何がしたいのか、今はどうしたいのかなどを考えながら支援することを心がけている。具体的には、居室で過ごしたいのか、テレビを見たいのか、外出したいのか、カラオケをしたいのかなどの要望を感じ取るようにしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個別に対応支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 買い物・野菜栽培・調理・盛り付け・片付けなど、1日の活動の大切な1つになっている。  (外部評価) 食事の準備や片付けについて、それぞれの利用者ができることを誇りにしながら行えるよう配慮している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 出来る範囲で一人一人の状況に合わせて楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) チェック表などを活用し、状態の把握に努め気持ちよく排泄できるよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 体調・状況に合わせ、希望も確認したうえで、入浴を楽しめるよう支援している。  (外部評価) 希望の時間に入ることができるよう支援している。清潔を保持するために、基本的には一日おきに入ることができるよう声かけ等を工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を促し生活リズムを整える。又その時々状況・体調を見極め、タイミングよく休息がとれるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意なことや役割、個々にあった喜びを支援している。  (外部評価) ベランダでお茶を楽しんだり、唄を歌ったり、刺し子の布巾を作ってもらったり、裁縫の得意な方に繕い物をしてもらうなど、それぞれの利用者が希望することができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族との相談のうえ、個々に支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) なるべく希望に添えるようにしている。  (外部評価) 買い物にはできるだけ順番に皆が出かけられるように配慮している。デイサービスの車を利用してドライブに出かけることもある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 日帰り旅行（家族も同行して）		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じて支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問時間などは決めておらず、気軽に来やすい雰囲気作りを心がけている。（テーブル・椅子を持ち込み一緒におやつをしてもらう事もある）		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会を持ち、共有認識を図り、しないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 見守りを重視しカギをかけていない。 センサーチャイムを設置している。  (外部評価) 運営者及びすべての職員は鍵をかけないケアの意義を十分理解しており、玄関は安全のため夜間のみ施錠し、見守りで利用者の安全を確保するよう努めている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 把握しやすい環境もあり、昼夜を通して安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 状況に応じて考えている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態に合わせた事故防止に取り組んでいる。 ヒヤリハットや事故報告書なども活用している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルを作成し、壁に貼って活用している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の防災訓練は実施しているが、地域には参加していない。  (外部評価) 消防署の指導のもと、職員と同法人の施設管理職員等で消火・避難訓練を実施している。また、同法人医療機関の協力を得ながら、夜間を想定した訓練も実施している。	※	非常災害時に利用者の状態を理解した上で支援してもらうために、運営推進会議等を通じて地域の協力が得られるよう、連携体制を整えていくことが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 状況に合わせ判断し、家族に説明したり相談したりしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変があった場合は、訪問看護師に報告・相談のうえ主治医に連絡し早期発見と対応に努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理、説明書保管を順番で行い、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会の内容にも取り入れ、食事内容や水分補給・体を動かす機会（ラジオ体操・ストレッチ）を多くするなど、自然排便を心がけている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に合わせた支援をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取状況をチェックする人もいるなど、一人一人に合わせた支援をしている。  (外部評価) 以前の献立表等を活用しながら、季節感のある食事を提供している。法人の栄養士にチェックしてもらい、適切なカロリーや栄養バランスを確保している。摂取量に関しては、水分も含めて個別に記録をとって管理している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食品衛生管理者を配置している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節感のある花や木で演出している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 生活感や季節感を取り入れ居心地よく過ごせるよう工夫している。  (外部評価) 居間の窓辺に飾られた観葉植物や季節の花が、外からの光を浴びて生き生きとしており、自然を感じられて心地よい。十分な広さがあり、テーブルやいす、ゆったりとしたソファの配されたテレビのコーナーなど、それぞれの利用者がお気に入りの居場所を確保している。浴室、オープンキッチン、トイレも清潔感がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファや椅子、ベランダにテーブルと椅子のセットなど、いろいろ工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者の好みや馴染みの物などを生活スタイルに合わせ用意し、居心地のよさに配慮している。  (外部評価) 家族の写真、思い出の品、仏壇、小箆箆、ソファ、ベット、テーブル、カレンダー、時計など、利用者それぞれが好みのものを持ち込んだ、個性的で居心地の良い居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度計・湿度計で確認しながら、こまめに対応できている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーの環境であり、安全確保と自立への配慮をしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 状況に合わせて環境整備を図り、混乱や失敗が生じた時には、カンファレンスを持ち、不安を取り除き力を取り戻せるよう支援する。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関先やデッキにベンチや椅子を置き、楽しい時を過ごせるようしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	本人・家族の意向を把握し大切にしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	お茶や、おやつの時間、カラオケなど一緒に楽しむ。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分のペースが作れない方、わからない方以外はできている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	さりげなく寄り添う支援をしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人で自由には無理だが、ドライブは実施している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	母体病院や訪問看護ステーションとの連携がある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意向を大切に支援しているが十分でない部分もある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	連絡を密にとるよう心がけており、信頼関係ができています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	家族の訪問がほとんどである。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	地域性に無理がある。
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	辞める職員も少なく、暖かい明るい雰囲気がある。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	普段の生活している表情から
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の反応・利用料金

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・個別ケアを念頭において、安心して穏やかに生活して頂けるよう支援している。
- ・その人らしさを大切に役割（生活歴や残存能力を生かした活動）や楽しみのある（レクリエーションや外出）質の高い生活をめざしている。